ITW Performance Polymers and Fluids Japan Co., Ltd.

安全データシート(SDS)

デブコン ET　主剤

発行日: 2015-10-30　　**改訂日付: 2015-10-30**　　**バージョン: R0001.0002**

1. 化学製品および会社情報

A. 製品名

- デブコン ET　主剤

B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途　　: 治工具剤　主剤
- 使用上の制限　　: 所定の用途以外に使用しないこと

C. 製造業者/供給者/流通業者情報

○ **製造者情報**

- 製造元/供給元　　: 株式会社ITWﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰｽﾞ&ﾌﾙｲｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ
- 住所　　: 〒564-0053　大阪府吹田市江の木町30-32

○ **供給者/販売者情報**

- 供給元/販売元　　: 株式会社ITWﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰｽﾞ&ﾌﾙｲｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ
- 住所　　: 〒564-0053　大阪府吹田市江の木町30-32
- 担当部署　　: 品質管理部
- 電話　　: 06-6330-7118
- FAX　　: 06-6330-7083

2. 危険有害性の要約

A. GHS分類

- 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
- 皮膚感作性 : 区分1
- 急性水生環境毒性 : 区分2
- 慢性水生環境有害性 : 区分4

B. 予防措置文句を含む警告表示項目

○ **シンボル**

○ **注意喚起語**

- 警告

○ **危険有害性情報**

- H315 皮膚刺激
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H413 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

○ **注意書き**

1) 予防

- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264 取扱後は取扱部位をよく洗うこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

2) 対応

- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- P321 特別な処置が必要である
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。
- P363 汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。

3) 保存

- 該当なし

4) 廃棄

- P501 内容物/容器を都道府県/市町村の法令・規則に従って廃棄すること。

C. 有害•危険性分類基準に含まれてないその他の有害•危険性

○ **NFPA等級（0〜4段階）**

- 保健 : 2, 火災 : 1, 反応性 : 0

3. 組成及び成分情報

- 単一製品•混合物の区別 : 混合物
- 一般名 : エポキシ樹脂組成物

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	-	25068-38-6	-	-	70-80
アルキレングリコールジグリシジルエーテル	Neopentyl glycol diglycidyl ether	17557-23-2	2-396	-	20-30

*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

4. 応急措置

A. 眼への接触

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。

B. 皮膚に付着した場合

- データなし

C. 吸入毒性

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。

D. 飲み込んだ場合

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。

E. 急性および遅延性の主な症状/影響

- データなし

F. 応急処置および医師の注意事項

- データなし

5. 火災時の措置

A. 消火剤

- 粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

B. 使ってはならない消火剤

- 水、泡（炎を拡散する可能性がある）

C. 特有の危険有害性

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

D. 特定の消化方法

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

E. 消化を行う者の保護

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具（耐熱性）を着用すること。

6. 漏出時の措置

A. 人体を保護するために必要な注意事項

- 密閉された空間に出入りする前に、換気を実施すること。
- 風上で作業して、風下にいる人を非難させること。
- すべての発火源を取り除くこと。
- 皮膚との接触、吸入を避けること。

B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

C. 浄化方法

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。
- 廃棄物管理法（環境省）により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

A. 安全な取り扱いのための注意事項

- 長期間または繰り返し蒸気を吸入しないこと。

B. 安全保管条件

- 避けるべき物質および条件に注意すること。
- 使用しない場合、密閉しておくこと。
- 静電気を防止するために可燃性の物質および熱源から遠ざけること。
- 密閉容器に入れて回収すること。

8. 暴露防止及び保護措置

A. 許可濃度

○ **日本許容濃度**

- 該当なし

○ **ACGIHの暴露標準**

- データなし

B. 設備対策

- 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

C. 個人防護具

○ **呼吸保護**

- 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 直結式防毒マスク(有機ガス用)
- 有機蒸気カートリッジ付任意の化学カートリッジレスピレーター
- 空気清浄呼吸器（フル面体および有機蒸気キャニスタ付）
- 未知濃度またはその他の生命や健康に差し迫った危険がある場合：送気マスク（複合式エアラインマスク）、空気呼吸器（全面型）

○ **眼の保護**

- 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。

○ **手の保護**

- 適切な保護手袋を着用すること。

○ **身体の保護**

- 適切な保護服を着用すること。

○ **その他**

- データなし

9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	液体
- 色	淡青色透明
B. 臭い	微量
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
G. 引火点	> 160 ℃
H. 蒸発速度	<<1（酢酸ブチル=1）
I. 引火性（固体、気体）	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	データなし

K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	水に不溶
M. 蒸気密度	データなし
N. 比重	1.2
O. 水/ n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	>300℃
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

10. 安定性及び反応性

A. 安定性

- 推奨された保管と取り扱いの場合、安定する。

B. 有害反応の可能性

- 強ルイス酸、無機酸、強酸化剤、強無機塩基及び有機塩基(特に一級及び二級脂肪族アミン類)との混触は避ける。

C. 避けるべき条件

- 高温、火花及び直火。混触禁止物質、酸化剤及び酸化する環境。空気中で材料を148℃以上に熱するとゆっくりと酸化性分解する可能性がある。

D. 混触危険物質

- 強ルイス酸、無機酸、強酸化剤、強無機塩基及び有機塩基(特に一級及び二級脂肪族アミン類)

E. 危険有害な分解生成物

- 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

○ **(呼吸器)**

- データなし

○ **(経口)**

- データなし

○ **(眼･皮膚)**

- 皮膚刺激
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

B. 有害性

○ **急性毒性**

*** 経口毒性 - ATE MIX : >5000**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : ラットに対する経口投与のLD50＝＞1,000 mg/kg、11,400 mg/kg、13,600 mg/kg (以上、CERIハザードデータ集 2001-36 (2002)) に基づき、確定値のうち低い値のLD50＝11,400 mg/kgから、区分外とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : ラットにおけるLD50値 4500 mg/kg (Patty (5th, 2001)) に基づき、JIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5）とした。

*** 経皮毒性 - ATE MIX : データなし**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : ラットに対する経皮投与のLD50＝＞1,600 mg/kg (CERIハザードデータ集 2001-36 (2002)) に基づき、区分4以上に分類されると考えられるが、確定値が得られていないので、「分類できない」とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : ラットにおけるLD50値 >2150 mg/kg (Patty (5th, 2001)) に基づき、区分外(国連分類基準は区分5または区分外）とした。

*** 吸入毒性 - ATE MIX : データなし**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : データなし
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

○ **皮膚腐食性/刺激性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : CERIハザードデータ集 2001-36 (2002)、DFGOTvol.19 (2003) のウサギに対する皮膚一次刺激性試験結果の記述「皮膚刺激性について刺激性なしから中等度の刺激性を有する」から、4時間適用試験結果はないが、刺激性を有すると考えられ、区分2とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : ウサギを用いたドレイズ試験において、「中程度」の刺激性がみられ、ドレイズスコア8ランク中2.3位を示した(Patty (5th, 2001)。また、EU分類においてもR38(区分2相当)(EU-Annex Ⅰ, access on 12. 2008)であることから、区分2とした。

○ **眼に対する重篤な損傷／刺激性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : CERIハザードデータ集 2001-36 (2002)のウサギに対する眼刺激性試験結果の記述「刺激性なしから軽度の刺激性を有する」から、軽度の刺激性を有すると考えられ、区分2Bとした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : ウサギにおいて、「洗眼後も僅かな刺激性」がみられている(Patty (5th, 2001))ことから区分2Bとした。

○ **呼吸器感作性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : 呼吸器感作性：データなし　　皮膚感作性：　CERIハザードデータ集 2001-36 (2002)、DFGOTvol.19 (2003) のヒトにおける症例研究やボランティア試験の結果、また、モルモットに対する皮膚感作性試験結果の記述及び日本職業・環境アレルギー学会による「皮膚感作性物質」という分類結果から、皮膚感作性を有すると考えられ、区分1とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : （呼吸器感作性）データなし。（皮膚感作性）モルモットにおいて「強力な感作性あり」(Patty (5th, 2001))と記述がある区分1とした。

○ **皮膚感作性**

- データなし

○ **発がん性**

*** IARC**

- データなし

*** OSHA**

- データなし

*** ACGIH**

- データなし

*** NTP**

- データなし

*** EU CLP**

- データなし

○ **生殖細胞変異原性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : DFGOT vol.19 (2003) の記述から、経世代変異原性試験 (優性致死試験) で陰性、生殖細胞in vivo変異原性試験 (染色体異常試験) で陰性、体細胞in vivo変異原性試験 (小核試験、染色体異常試験) で陰性であることから、区分外とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : マウスを用いるin vivo変異原性試験(1.5g/kgの用量の週3回の8週間の皮膚適用、優性致死試験)、マウスを用いた体細胞in vivo変異原性試験（小核試験）の陰性結果(Patty (5th, 2001))に基づき、区分外とした。in vitro変異原性試験(エームス試験、ヒト培養白血球を用いたDNA修復試験) (NTP DB (access on 12. 2008), Patty (5th, 2001))において、複数指標の陽性結果がある。

○ **生殖毒性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : PATTY (4th, 2000) 及びDFGOT vol.19 (2003) の記述から、生殖毒性試験、催奇形性試験のいずれにおいても、親動物毒性がみられる用量で生殖及び発生への影響がみられていないことから、区分外とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

○ **標的臓器／全身毒性（単回暴露）**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : データ不足のため、分類できない。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

○ **標的臓器／全身毒性（反復暴露）**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : データ不足のため、分類できない。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

○ **吸入有害性**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : データなし
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

12. 生態学的情報

A. 生態毒性

○ **魚類**

- データなし

○ **甲殻類**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : 甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC50=1.7mg/L

○ **藻類**

- データなし

B. 残留性と分解性

○ **残留性**

- データなし

○ **分解性**

- データなし

C. 生体蓄積性

○ **生体蓄積性**

- データなし

○ **生分解性**
- データなし

D. 土壌中の移動性
- データなし

E. オゾン層への有害性
- データなし

F. その他の有害な影響
- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : 急性毒性が区分1、生物蓄積性が低いものの（BCF≦42（既存化学物質安全性点検データ））、急速分解性がない（BODによる分解度：0%（既存化学物質安全性点検データ））ことから、区分1とした。
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : データなし。

13. 廃棄上の注意

A. 廃棄方法
- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

B. 廃棄上の注意
- データなし

14. 輸送上の注意

A. 国連番号
- 3082

B. 国連輸送固有名
- Other regulated substances, liquid, n.o.s.

C. 輸送危険クラス（ES）：
- 9

D. 包装等級
- Ⅲ

E. 海洋汚染物質
- 該当なし

F. 輸送上の特定の安全対策及び条件
- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類 : F-A (General fire schedule)
- 流出時の非常措置の種類 : S-F (Water-soluble marine pollutants)

G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号
- 171

15. 適用法令

A. 日本国内規制事項

○ 消防法
- 第4類第3石油類(非水溶性)

*** 危険等級**
- Ⅲ

○ 労働安全衛生法

*** その他**
- 変異原性物質(ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂)

○ 労働基準法
- 平成8年労働基準局長通達　基発第182号13 ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA型ｴﾎﾟｷｼ樹脂

B. 他の国内および国際法律情報

○ **残留性有機汚染物質規制法**
- 該当なし

○ **EU 分類情報**

*** 分類**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : Xi; R36/38 R43 N; R51-53
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : Xi; R38 R43

*** 危険有害性情報**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : R36/38, R43, R51/53
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : R38, R43

*** 注意書き**

- [4,4'-(1-methylethylidene)bisphenol polymer with (chloromethyl)oxirane] : S2, S28, S37/39, S61
- [2,2'-[(2,2-Dimethyl-1,3-propanediyl)bis(oxymethylene)]bisoxirane] : S2, S24, S37

○ **米国の管理情報**

*** OSHA規定（29CFR1910.119）**

- 該当なし

*** CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)**

- 該当なし

*** EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)**

- 該当なし

*** EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)**

- 該当なし

*** EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)**

- 該当なし

○ **ロッテルダム協約物質**

- 該当なし

○ **ストックホルム協約物質**

- 該当なし

○ **モントリオール議定書物質**

- 該当なし

16. その他注意事項

A. 参考文献

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。
- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。
- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカ所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253

B. 作成日

- 2015-10-30

C. 改訂回数及び最終改訂日

- 1 times, 2015-10-30

D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。

ITW Performance Polymers and Fluids Japan Co., Ltd.

安全データシート(SDS)

デブコンET　硬化剤

発行日: 2015-10-30　　**改訂日付: 2018-12-07**　　**バージョン: R0001.0002**

1. 化学製品および会社情報

A. 製品名

- デブコンET　硬化剤

B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途　　: 治工具剤　硬化剤
- 使用上の制限　　: 所定の用途以外に使用しないこと

C. 製造業者/供給者/流通業者情報

○ **製造者情報**

- 製造元/供給元　　: 株式会社ITWﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰｽﾞ&ﾌﾙｲｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ
- 住所　　: 〒564-0053　大阪府吹田市江の木町30-32

○ **供給者/販売者情報**

- 供給元/販売元　　: 株式会社ITWﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾎﾟﾘﾏｰｽﾞ&ﾌﾙｲｽﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ
- 住所　　: 〒564-0053　大阪府吹田市江の木町30-32
- 担当部署　　: 品質管理部
- 電話　　: 06-6330-7118
- FAX　　: 06-6330-7083

2. 危険有害性の要約

A. GHS分類

- 該当なし

B. 予防措置文句を含む警告表示項目

○ **シンボル**

- 該当なし

○ **注意喚起語**

- 該当なし

○ **危険有害性情報**

- 該当なし

○ **注意書き**

1) 予防

- 該当なし

2) 対応

- 該当なし

3) 保存

- 該当なし

4) 廃棄

- 該当なし

C. 有害•危険性分類基準に含まれてないその他の有害•危険性

○ **NFPA等級（0〜4段階）**

- 保健 : 0, 火災 : 1, 反応性 : 0

3. 組成及び成分情報

- 単一製品•混合物の区別　　: 混合物
- 一般名　　: ポリアミン組成物

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
ポリ(プロピレングリコール)ジアミン	-	9046-10-0	-	-	65-75
ポリメルカプタン	-	登録済み	-	-	25-35

*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

4. 応急措置

A. 眼への接触

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。

B. 皮膚に付着した場合

- データなし

C. 吸入毒性

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。

D. 飲み込んだ場合

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。

E. 急性および遅延性の主な症状/影響

- データなし

F. 応急処置および医師の注意事項

- データなし

5. 火災時の措置

A. 消火剤

- 粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂

B. 使ってはならない消火剤

- 水、泡（炎を拡散する可能性がある）

C. 特有の危険有害性

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

D. 特定の消化方法

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

E. 消化を行う者の保護

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具（耐熱性）を着用すること。

6. 漏出時の措置

A. 人体を保護するために必要な注意事項

- 作業者は適切な保護具（"8。暴露防止及び保護措置"の項参照）を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
- 密閉された空間に出入りする前に、換気を実施すること。
- 風上で作業して、風下にいる人を非難させること。

B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

C. 浄化方法

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。
- 廃棄物管理法（環境省）により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

A. 安全な取り扱いのための注意事項

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 長期間または繰り返し蒸気を吸入しないこと。

B. 安全保管条件

- 避けるべき物質および条件に注意すること。
- 使用しない場合、密閉しておくこと。
- 静電気を防止するために可燃性の物質および熱源から遠ざけること。

8. 暴露防止及び保護措置

A. 許可濃度

○ **日本許容濃度**

- 該当なし

○ **ACGIHの暴露標準**

- データなし

B. 設備対策

- 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。

C. 個人防護具

○ **呼吸保護**

- 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 直結式防毒マスク(有機ガス用)
- 有機蒸気カートリッジ付任意の化学カートリッジレスピレーター
- 空気清浄呼吸器（フル面体および有機蒸気キャニスタ付）
- 未知濃度またはその他の生命や健康に差し迫った危険がある場合：送気マスク（複合式エアラインマスク）、空気呼吸器（全面型）

○ **眼の保護**

- 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。

○ **手の保護**

- 適切な保護手袋を着用すること。

○ **身体の保護**

- 適切な保護服を着用すること。

○ **その他**

- データなし

9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	液体（粘性液体）
- 色	淡黄色透明
B. 臭い	メルカプタン臭
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
G. 引火点	> 125 ℃
H. 蒸発速度	データなし
I. 引火性（固体、気体）	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	データなし
K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	水に不溶
M. 蒸気密度	データなし
N. 比重	1
O. 水/ n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	>300℃
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

10. 安定性及び反応性

A. 安定性

- 常温・常圧、密閉保管であれば安定

B. 有害反応の可能性

- 酸、酸化剤、有機塩素化合物、反応性金属（ナトリウム、カルシウム、亜鉛等）、次亜塩素酸ナトリウム/カリウム、亜硝酸、一酸化二窒素、亜硝酸化合物との混触を避ける。本品はヒドロキシル化合物と反応する。

C. 避けるべき条件

- 高温、火花及び直火。混触禁止物質、酸化剤及び酸化する環境。

D. 混触危険物質

- 酸、酸化剤、有機塩素化合物、反応性金属（ナトリウム、カルシウム、亜鉛等）、次亜塩素酸ナトリウム/カリウム、亜硝酸、一酸化二窒素、亜硝酸化合物

E. 危険有害な分解生成物

- データなし

11. 有害性情報

A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

○ **(呼吸器)**
- データなし

○ **(経口)**
- データなし

○ **(眼･皮膚)**
- データなし

B. 有害性

○ **急性毒性**

*** 経口毒性 - ATE MIX : データなし**
- データなし

*** 経皮毒性 - ATE MIX : データなし**
- データなし

*** 吸入毒性 - ATE MIX : データなし**
- データなし

○ **皮膚腐食性/刺激性**
- [α-(2-Aminomethylethyl)-ω-(2-aminomethylethoxy)poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)]] : 皮膚刺激

○ **眼に対する重篤な損傷／刺激性**
- [α-(2-Aminomethylethyl)-ω-(2-aminomethylethoxy)poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)]] : 強い眼刺激

○ **呼吸器感作性**
- データなし

○ **皮膚感作性**
- データなし

○ **発がん性**

*** IARC**
- データなし

*** OSHA**
- データなし

*** ACGIH**
- データなし

*** NTP**
- データなし

*** EU CLP**
- データなし

○ **生殖細胞変異原性**
- データなし

○ **生殖毒性**
- データなし

○ **標的臓器／全身毒性（単回暴露）**
- [α-(2-Aminomethylethyl)-ω-(2-aminomethylethoxy)poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)]] : 呼吸器への刺激のおそれ

○ **標的臓器／全身毒性（反復暴露）**
- データなし

○ **吸入有害性**
- データなし

12. 生態学的情報

A. 生態毒性

○ **魚類**
- データなし

○ **甲殻類**
- データなし

○ **藻類**
- データなし

B. 残留性と分解性

○ **残留性**
- データなし

○ **分解性**
- データなし

C. 生体蓄積性

○ **生体蓄積性**
- データなし

○ **生分解性**
- データなし

D. 土壌中の移動性

- データなし

E. オゾン層への有害性

- データなし

F. その他の有害な影響

- データなし

13. 廃棄上の注意

A. 廃棄方法

- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

B. 廃棄上の注意

- データなし

14. 輸送上の注意

A. 国連番号

- 2735

B. 国連輸送固有名

- Amines, liquid, corrosive, n.o.s.

C. 輸送危険クラス（ES）：

- 8

D. 包装等級

- III

E. 海洋汚染物質

- 該当なし

F. 輸送の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類 : F-A (General fire schedule)

- 流出時の非常措置の種類 : S-B (Corrosive substances)

G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号

- 153

15. 適用法令

A. 日本国内規制事項

○ 消防法

- 第4類第3石油類(水溶性液体)

*** 危険等級**

- Ⅲ

○ 労働安全衛生法

*** その他**

- エポキシ樹脂硬化剤健康障害防止通達該当

B. 他の国内および国際法律情報

○ 残留性有機汚染物質規制法

- 該当なし

○ EU 分類情報

*** 分類**

- 未分類

*** 危険有害性情報**

- 該当なし

*** 注意書き**

- 該当なし

○ 米国の管理情報

*** OSHA規定（29CFR1910.119）**

- 該当なし

*** CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)**

- 該当なし

*** EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)**

- 該当なし

*** EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)**

- 該当なし

*** EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)**

- 該当なし

○ ロッテルダム協約物質

- 該当なし

○ ストックホルム協約物質

- 該当なし

○ モントリオール議定書物質

- 該当なし

16. その他注意事項

A. 参考文献

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。
- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。
- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。
- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカ所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。
- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。
- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253

B. 作成日

- 2015-10-30

C. 改訂回数及び最終改訂日

- 2 times, 2018-12-07

D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。